

報道関係各位

2022年3月16日
株式会社クロス・マーケティング

4割が「森のようちえん」を体験させたい 自然が与える感性や身体への影響に好感

－「森のようちえん」に関する調査（2022年）－

株式会社クロス・マーケティング（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：五十嵐 幹）は、全国20歳～69歳の男女を対象に「森のようちえんに関する調査（2022年）」を実施しました。近年注目を集めている「森のようちえん」という新しい幼児教育の形ですが、一般生活者にはどのように受け止められているのでしょうか。今回は、「森のようちえん」を知っているか、どう思うか、子どもや孫に体験させたいか、について聴取しました。

◆当調査における「森のようちえん」の定義（※アンケート回答者に以下の説明文を呈示）

「森のようちえん」とは、1950年代にデンマークで始まった、自然体験を基軸にした保育・幼児教育の総称です。森、海、川、野山、畑、自然公園など、広義の自然の中で、子どもが主体的に活動することを中心とし、大人は子どもの主体性を重んじつつ、見守ります。幼稚園・保育園・自主保育などによる全日制から、自然学校などによるイベント型など、様々な形態があります。

◆自主調査リリースの続きはこちらへ⇒<https://www.cross-m.co.jp/report/life/20220316morinoyouchien/>

■調査結果

✓「森のようちえん」の認知率は15.2%。うち5.4%は「どのようなものかも知っている」。

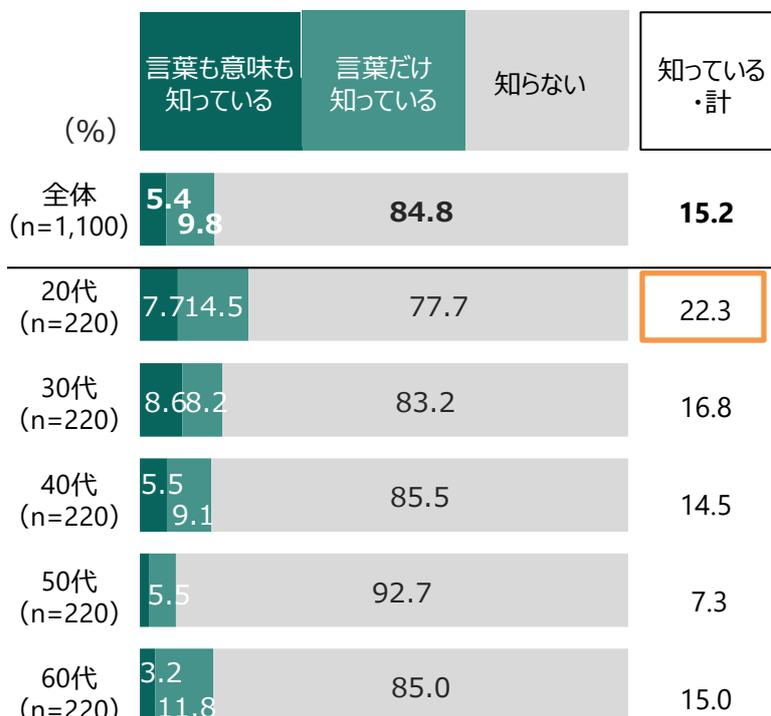
年代別では20代の認知率が最も高く、22.3%が知っていると答えた。〈図1〉

✓3人に1人が、子どもや孫に「森のようちえん」を体験させたいと回答。〈図2〉

✓「森のようちえん」の印象は、「自然のなかでの子育ては良いこと」、「感性が豊かに育ちそう」、「身体が丈夫に育ちそう」がトップ3。

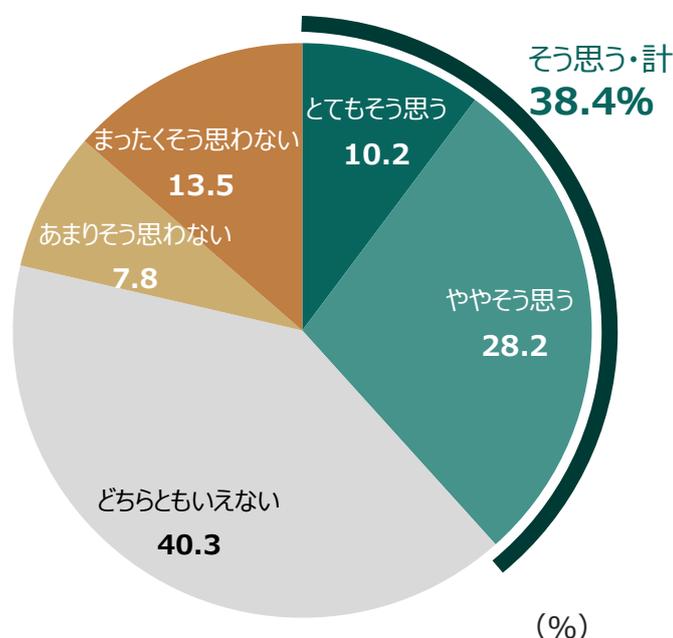
ポジティブな印象が上位を占めるが、一方で「適切な指導者がいるかが気になる」、「費用がかかりそう」、「怪我や事故のリスクが心配」といったネガティブな印象も。〈図3〉

〈図1〉「森のようちえん」の認知率（単一回答：n=1,100）

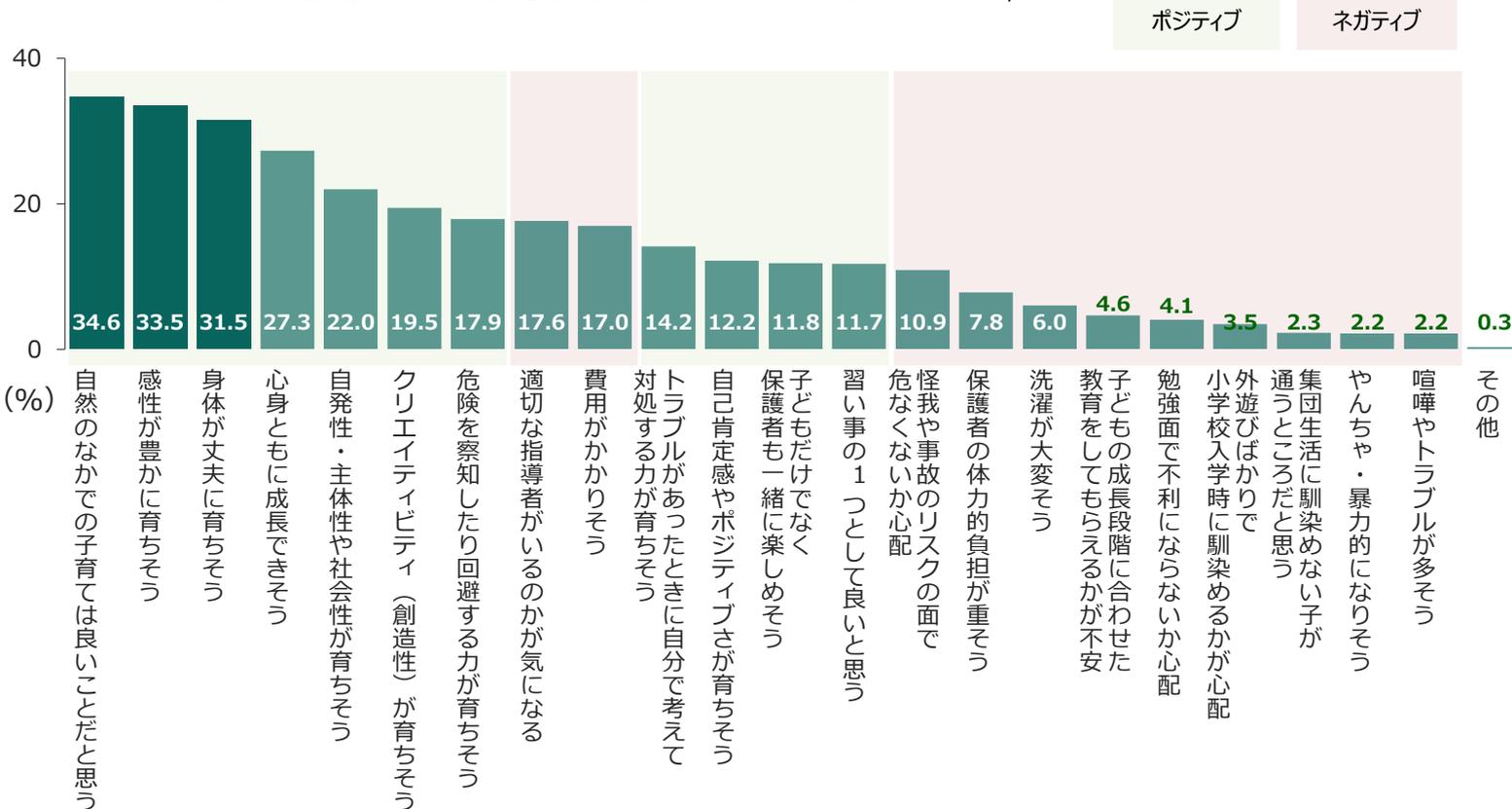


〈図2〉「森のようちえん」を子や孫に体験させたいか（単一回答：n=1,100）

※対象年齢の子どもや孫がいない人はいと想定して回答



＜図3＞「森のようちえん」の説明文を見て、どのように感じるか（複数回答：n=1,100）



■ 調査項目

- 属性設問
- 昨今の状況下で、現在、あなたが「してもいい」と思う外出を伴う行動
- 「森のようちえん」の認知率
- 「森のようちえん」のコンセプトを見て、どのように感じるか
- 自分の子どもや孫に「森のようちえん」を体験させたい（体験させたかった）と思うか
- そのように思う（思わない）のはなぜか

◆クロス集計表のダウンロードはこちらへ ⇒ <https://www.cross-m.co.jp/report/life/20220316morinoyouchien/>

■ 調査概要

調査手法 : インターネットリサーチ（クロス・マーケティング セルフ型アンケートツール「QiQUMO」使用）
 調査地域 : 全国47都道府県
 調査対象 : 20～69歳の男女
 調査期間 : 2022年3月11日（金）～3月12日（土）
 有効回答数 : 本調査1,100サンプル

※調査結果は、端数処理のため構成比が100%にならない場合があります

【会社概要】

会社名 : 株式会社クロス・マーケティング <http://www.cross-m.co.jp/>
 所在地 : 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー24F
 設立 : 2003年4月1日
 代表者 : 代表取締役社長兼CEO 五十嵐 幹
 事業内容 : マーケティングリサーチ事業

◆本件に関する報道関係からのお問い合わせ先◆

広報担当 : マーケティング部 TEL : 03-6859-1192 FAX : 03-6859-2275
 E-mail : pr-cm@cross-m.co.jp

「引用・転載時のクレジット表記のお願い」

本リリースの引用・転載時には、必ず当社クレジットを明記いただけますようお願い申し上げます。

＜例＞ 「マーケティング・リサーチ会社のクロス・マーケティングが実施した調査によると・・・」